



epooca

静岡県男女共同参画センター・あざれあ情報誌

エポカ vol.127

2017年8月号



特集
林業に挑む！

いの
猪野 かおりさん（有限会社 木成）

猪野かおりさんは、全国でも数少ない女性の林業従事者だ。早朝、朝もやに包まれる富士市南松野奥深くの山林に、チェーンソーの音が響き、一本の木がゆっくりと倒れていく。根元に立ち、チェーンソーを手に、倒れる木の様子を見つめる猪野さん。彼女はチェーンソーを構えると、倒れる方向を見定め、次の伐倒にかかる。さらに、重機に乗り込み、同僚2人と共にチームワークで木を切り倒していく。

間伐と呼ばれるこの作業は、森林の一本一本の樹木が適度な間隔を保つことで、太陽光が木の根元まで十分届くようにするために行う木の間引きのことで、健全な樹木の育成を促す。健全な樹木によって構成される森林によって、降った雨が蓄えられ川に流れたり、二酸化炭素が吸収されたり、土砂災害などが起こりにくい地盤が生まれたりするのだ。

猪野さんは、農業高校を経て農林大学校で林業を学んだ。その後この道に進んだのは自然な成り行きだったといえる。自然が大好き、体を動かすことが大好きで、自然の中で木や土などに触れながら仕事ができたら…と思い描いていた。

男の世界のイメージが強い林業の道に進むことに抵抗感は全くなかった。「林業が男の世界ということは認識していました。農林大学校でも女子学生はクラスに私一人だけでしたし。でも、女性だからできないという先入観はありませんでした。この仕事をやりたいという気持ちが強く、性別は全く気になりませんでした。一方で、同僚の男性たちの中には、私が女性だからという理由で、不安を感じたり心配したりする人もいないのではないかと思います。実際、男性の同僚のように重いものを持って運ぶことなどができない時、男女の身体能力の違いを感じることもあります。そんな時、同僚たちは冗談を言いながら、うまくフォローしてくれるので非常にありがたいです。私も、私にできる作業（重機の操作など）でこの仕事に貢献できるよう努力しています。

林業の魅力は、自然と向き合うと同時に自分自身と向き合うことができるということではないでしょうか。自然と向き合い格闘する作業は厳しいですが、同僚たちと息を合わせて木を切り出していき、山林が整備され山道ができ、結果が目に見える形で現れた時の達成感は何とも言えません。この達成感とともに自然の中でとるお昼ごはんがどんなにおいしく感じるのか！（笑）

危険と隣り合わせの厳しい自然との格闘の中で、くじけそうになることもありますが、そんな時は、自分がやっていることが世の中の何に貢献しているかを思い出すのです」



ブックサポーター38 木を愛した女性

『ワングリの平和の木』



（ジャネット・ウィンター／作 BL出版 2010年）

9本の苗木を植えることから始まったグリーンベルト運動。ふるさとケニアに緑を取り戻しただけでなく、貧しかった女性たちの暮らしも変えていきました。ノーベル平和賞を受賞したワングリ・マータイさんの伝記絵本です。

DVD『樹木医 塚本こなみの仕事』



『プロフェッショナル仕事の流儀』

（日本放送出版協会 NHK エンタープライズ 2007年）
43歳で日本初の女性樹木医となった塚本こなみさん。樹木との出会いは、造園家である夫の手伝いから始まりました。現在、はままつフラワーパークの理事長として活躍する塚本さんの仕事の哲学を伝えます。



図書室利用案内

貸 出：図書5冊、ビデオ・DVD2本（2週間）

開室時間：月～金 9:00～18:00 土日祝 9:00～17:00

休 室 日：第1・3・5日曜日、図書整理日（8/29）、夏季休館日（8/13～8/15）

TEL：054-255-8763 / FAX：054-255-8759

ふじのくにイクボス養成講座 イクボス式経営で業績UP↑↑

～子育てもプライベートももっと楽しむ職場づくり～

【日 時】平成29年 9月11日(月)午後6時から7時30分

【会 場】**プラサヴェルデ** 301・302会議室
(沼津市大手町1-1-4)

【講 師】**川島 高之**(かわしま たかゆき)氏
NPO 法人理事・代表、株式会社社長、元PTA 会長
*子育て・経営・地域活動という講師の実体験による
視点から、今後の企業においてキーワードとなる上司
“イクボス”について語っていただきます。

【その他】定員100名 入場無料・要予約
*詳細は、県HP (www.pref.shizuoka.jp/kousei/ko-130/kosodate/ikubossyousei.html) 参照のこと。

【応募先・問合せ】

静岡県子ども未来課

〒420-860 静岡市葵区追手町9-6

TEL: 054-221-2037 FAX: 054-221-3521

E-mail: kodomo-m@pref.shizuoka.lg.jp

第4回 あいのうた

～出会いから子育てまでの短歌コンテスト～

【募集期間】平成29年 9月30日(土)まで(当日消印有効)

【募集部門】一般の部、ジュニアの部(高校生に相当する年齢以下)

【応募資格】どなたでもご応募いただけます。(参加無料)

【審査員】俵 万智氏(歌人)、田中 章義氏(歌人)

【応募方法】郵送、FAXまたは専用HPで受け付けます。

※詳細は、あいのうた事務局までお問合せいただくか、
専用HPをご覧ください。

【応募・問合せ】あいのうた事務局 TEL 054-285-9532

URL <http://www.ainoutatanka-shizuoka.jp/>

【主 催】静岡県子ども未来課

～あいのうた短歌コンテスト～ 関連イベント

過去の実績作品を展示する“あいのうた”受賞作品展示会を開催します。

イオン焼津店 7月31日(月)～8月7日(月)

イオンモール富士宮 8月11日(金)～8月20日(日)

プレウォーク浜北 8月26日(土)～9月3日(日)

男女共同参画社会づくり
宣言事業所・団体

(株)ダイナム 掛川店 (掛川市)

宣言事業所・団体 1,530件
(平成29年7月10日現在)

●地域と共に生きる企業～人を育てることで発展

今年創立50周年を迎える(株)ダイナムは、全国にパチンコホールを404店舗展開。「信頼と夢を育む百年の挑戦」という理念を掲げ、地域に娯楽を提供、顧客や地域の人々との「信頼」を築くことによって、アミューズメント産業において進化を続けている。

ダイナムでは人材育成に力を注ぎ、独自の研修プログラムを開発、研修施設を設営し社員教育を行っている。毎年新卒者を採用し、その中から育った若手社員を積極的に経営の中核に登用。現在、取締役のうち半数が新卒入社からの人材で、新卒採用者の継続性が強みだ。



男性も女性も、イキイキと働ける職場です



西本しおりさん

2013年にオープンした掛川店は静岡県内にある7店舗のうちの一つ。現在、従業員は18人(男性8人、女性10人)で、そのうち2人は産休・育休中だ。

入社3年目の西本しおりさんは、ホールでの接客業務をメインに、お客様がいかに快適に過ごすことができるかを考えながら、サービス向上のための提案をしている。「当社では、全国の女性従業員が集まる研修〈接客・サービス強化合宿〉があり、そこでは接客について話し合ったり、景品の並べ方をコンテスト形式で競い合ったりしながら様々なことを学び、実際にホールでの業務に活かすことができます。また、従業員同士の横のつながりを作ることでもでき、産休・育休を経て復職しキャリアを積んでいく先輩たちと直に接することで、自分もこんな風にキャリアアップできたら…と目標を具体的にイメージすることができます」

店長の佐々木大輔さんは語る。「女性の採用比率を増やし、店長や幹部社員として登用することで、より多くの女性の顧客から支持される店舗運営を目指しています。女性従業員が能力を十分発揮し、安心して働き続けられる環境を作るために、キャリアアップ研修の他、時短勤務、育児休暇、時間外労働や深夜勤務の抑制など様々なフォロー体制を整えています。幼い子供を抱えている女性にとってこんなに働きやすい職場はないのではないのでしょうか。子どもが熱を出した時など欠勤せざるを得ない状況がある中で、それにフレキシブルに対応できる環境や協力体制が当社にはあります。店舗に勤務しながら3人の子供を産んで育てた女性もいます。「ダイナムのおかげで3人の子供を育てることができた。この地域にダイナムがあってよかった」という声を聞くと、当社が地域の雇用創出のみならず、少子化問題にも貢献していると実感します。これからも、地域に必要とされる企業でありたいです」



店長の佐々木大輔さん

あざれあメッセ 2017 出展者募集中！ 締切：8/21

地元のハンサムウーマン⑩

～地域力を高める女性たち～

塩川 祐子さん (NPO 法人 母力向上委員会 代表／富士宮市)



★当事者の声を拾える存在でありたい

12 年前三女を出産した頃、富士宮市内でお産できる施設は3か所だけに減ってしまっていた。どの産婦人科もいつも非常に混み合い、満足のいくお産ができなくて母親たちは不安を感じていた。「こんなはずではなかった」と感じて出産した母親たちが、辛い思いを抱いて子育てをスタートさせていることに危惧を覚えた。病院や医者を増やすことは自分にとって難しいが、母親たちの意識を変えていくことはできるのではないかと、妊娠・出産・子育ては、母親が主体的に考え、選び、実現していくことで納得のいくものになりうるというメッセージを送りたいと考えた。

2008年に「母力向上委員会」を立ち上げてから10年近くたつ。「妊娠・出産・子育てをプラスにしよう！」というスローガンを掲げ、主に0才～3才児を持つ母親を対象に、講座、座談会、イベント、情報発信などを行う。家にこもりがちな時期の母親たちに、各種催し物に参加してもらうことでお互いに出会う場を作り、さまざまな情報を提供する中で、いろいろな考え方、生き方を伝えたいと考えている。そしてそこから、将来的に彼女たちの活躍の場が生まれるような道を作るのが目標だ。

現在、地元の企業にアプローチし、子育て世代に必要なサポートや、母親たちがいかに意欲的かつ柔軟に働けるかをアピールしている。今まで母親たちを力づけることで、出産・子育てがしやすい社会、彼女たちが輝ける社会を目指し活動してきた中で実感するのは、母親たちだけにメッセージを届けるのではなく、社会を構成するすべての人に理解を求めなければ世の中は変わらないということ。そのために、企業の方針や考え方をはじめ、男性の生き方、価値観なども理解し協力を得ることが必要と考える。

いつか富士宮市から、日本全国、世界へ向けて、「妊娠から切れ目のない支援」の成功例を発信したいと思っている。少子化対策や女性活躍推進施策は単に出生率や管理職に占める女性の割合を増やすだけでは意味はなく、いかに幸せな子どもたち、女性たち、男性たちの数を増やすかが重要で、それが地域や国の活力になると信じている。

あざれあ相談

悩んだとき、困ったときには、あざれあへ

女性相談

すべて女性の相談員、医師、弁護士による相談です。安心してお電話ください。



0558-23-7879 賀茂
055-925-7879 東部
054-272-7879 中部
053-456-7879 西部

※混み合う場合がございます。時間をあけておかけ直してください。

月・火・木・金 9:00～16:00
水曜日 14:00～20:00
第2土曜日 13:00～18:00

※いずれも日・祝を除く

面接

要予約・託児つき・無料
あざれあ女性相談の番号におかけください。

月	火	水	木
DV・ その他暴力 10:00～15:00	第3 弁護士相談 13:00～16:00	DV・ その他暴力 14:00～19:00	DV・ その他暴力 10:00～15:00
	偶数月第4 精神科医相談 14:00～16:00		

男性電話相談

生き方・家庭・仕事・健康等の悩み、男性相談員が対応します。

毎月第1・3土曜日 13:00～17:00

※つながらない場合は、少し時間をおいてかけ直してください。

※第1・3土曜日が休館日の場合、次の週の土曜日に相談を実施します。

専用電話 054-272-7880